

特別企画

歩いて探そう松原の観光スポット

今回の特集では、平成29年で14年目になる「開運松原六社参り（元旦〜15日）」を、松原子ども探検隊（松原市内のNPO法人・まつばらまちの案内人・阪南大学の来村ゼミ・松原市での取り組み）でお世話になっていきます。阪南大学国際観光学部来村多史教授に執筆していただきご紹介します。

▼問合せ 秘書広報課



- ①阿保神社
- ②阿麻美許曾神社
- ③我堂八幡宮
- ④柴籬神社
- ⑤布忍神社
- ⑥屯倉神社

地域に定着した

開運松原六社参り

お正月に長い絵馬を持って歩く人たちに会いませんか。「開運松原六社参り」を楽しむ方々です。

松原市内に鎮座する屯倉神社・阿保神社・柴籬神社・布忍神社・我堂八幡宮と、大阪市東住吉区の阿麻美許曾神社を合わせた6座の神社を回り、絵馬をいただいた神社に戻ると、かわいらしい十二支の張子が授与される。そういう遊び心たっぷりの行事です。

2004年の申年より始まって以来、毎年参加者が増え、今では1万人あまりの人々が、冬の街を元気に歩く健康的な行事として定着しました。

2010年からは、近鉄や阪南大学も広報に協力をして、市内だけでなく、遠方からもご参加いただく行事に成長しています。



行事を企画したのは「恋みくじ」で全国的にも有名になった布忍神社の寺内成仁宮司です。起ち上げの経緯をお聞きすると、この発端は阪神淡路大震災にあるとのこと。神戸にいる知人の手助けをしようと、バイクでたどり着いた寺内宮司が目にしたものは、茫然と立ちすくむ住民たちでした。食料や水を手に入れようと、彼らに商店の場所を尋ねても、返ってくるのは曖昧な返事ばかり。そこで宮司は気づいたと言います。「住民はわかっているようで、意外と自分たちの地域のことを知らないのだ」と。

宮司の会で、何か新しい試みはできないものかと投げかけられた寺内宮司は、あれこれと考えているうちに、このときの体験がふと浮かび、方針が決まったそうです。自分たちの街を知る行事にしよう。こうして開運松原六社参りは生まれました。

地元を巡る小さな旅を季節ごとの行楽にされてはいかがでしょう。文 阪南大学国際観光学部 来村多史

最寄りの神社から

始めましょう

今年からお参りしてみようかと思いついた方が少し悩まれるのは、六社の巡り方です。どの神社から始めて、どう回ればよいのかわからない。何か正式な順序はあるのかとでも、ご安心ください。巡り方は自由です。松原市内にお住いの方ならば、最寄りの神社から始め、最寄りの神社に戻ってくる。そういう巡り方でかまいません。

モデルコースを記した詳細な地図をそれぞれの神社に置いてありますので、それをご覧になりながら、松原のさまざまな風景をお楽しみください。こういう機会がなければ気づかない街の魅力を発見できます。六社にはそれぞれ特徴があります。河内松原駅から歩いてすぐの柴籬神社は古墳時代に反正天皇が宮を置かれた場所であり、天皇が美しい歯の意味をもつ「ミズハワケ」の和名をお持ちのことから、境内には歯の神を祀る社も建てられています。河内松原駅から北へ続く中高野街道にそって鎮座する阿保神社と屯倉神社の御祭神は、いずれも菅原道真公。

阿保神社には、御神木であるクスノキが巨大な根を張り、屯倉神社には、道真公にちなむ梅が咲き誇ります。西除川に赤い宮橋のかける布忍神社は言葉の芸術家、イチハラヒロコさんの恋みくじが若者に大人気です。我堂八幡宮は節分の湯立神楽が無病息災を祈る人々の信仰を集めています。

大阪地域にありながら、松原のお宮さんにも数えられる阿麻美許曾神社には背の高いクスノキが林立して、神々しい風景を作っています。

四季折々に魅力ある姿を見せる六社は松原の貴重な観光スポットでもあります。六社参りをきっかけに、



▲2016年版 開運松原六社参りMAP



▲阿保神社での書き初めの様子

松原魅力再発見講座「ゆっくり開運松原六社参り」

松原市の正月の風物詩「開運松原六社参り」。

布忍神社・柴籬神社・阿保神社・屯倉神社・我堂八幡宮・阿麻美許曾神社およびその周辺の史跡を、「まつばらまちの案内人」によるガイドで歩きます。

▶とき 平成29年1月8日(日)

▶集合 近鉄南大阪線「布忍駅」改札口 午前10時

※「開運松原六社参り」絵馬を受領の人は布忍神社にて500円が必要です。

(昼食は河内松原駅周辺で各自お摂りください)

▶解散 我堂八幡宮 午後4時頃

※「開運干支張り子」受領を希望の人は、布忍神社までご案内します。

※直接お帰りの人は、河内天美駅までご案内します。

▶費用 無料

▶定員 先着30人

▶申込み 12月15日(木) 午前10時から電話でふるさとびあプラザまで。

▶問合せ 松原市民ふるさとびあプラザ

(年末年始(12月29日~1月3日)、月曜日休館)

☎336-6800